

NEWS RELEASE

 伊藤忠都市開発

平成27年7月3日

報道関係各位

クレヴィアシリーズ 京都第4弾プロジェクト。

『クレヴィア京都 御所南』

京都御苑正門 堺町御門 直進。

7月4日(土)より、モデルルームグランドオープン!

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、社長／寺坂 晴男)は、「クレヴィア」マンションシリーズの京都第4弾プロジェクト「クレヴィア京都 御所南」(総戸数19戸)のモデルルームを7月4日(土)よりグランドオープンしますのでご案内いたします。

本プロジェクトは、京都御所が厳かに佇む京都御苑の正門「堺町御門」から連なる堺町通に位置。古都の風情が漂う場所でありながら、京都市営地下鉄烏丸線「烏丸御池」駅へ徒歩7分と、都市の躍動も身近に感じていただける立地に誕生します。

<「クレヴィア京都 御所南」の主な特徴>

- ①古都の風情と都市の利便性を享受できる「御所南」立地
- ②「京都御所」ゆかりのモチーフを物件キーデザインに採用
- ③京都の伝統美「琳派」「京友禅」「杉格子」を取り入れた共用部
- ④歴史的町並みに調和する外観



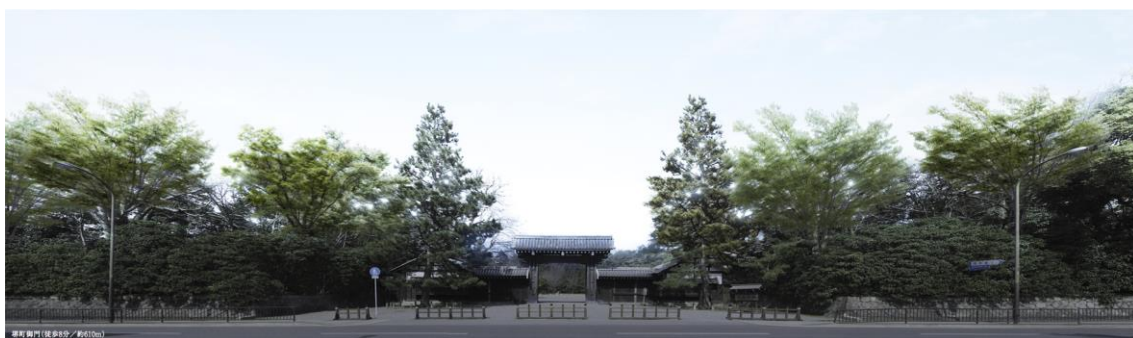
物件ホームページ : www.cv19.jp/

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———
伊藤忠都市開発(株) 広報室／嬉野・小曾根 TEL.06-7638-3630

1

古都の風情も、都市の躍動も、 多彩な京都を手中にする御所南。

京都御所の南側にあるエリアという意味で、広く用いられている「御所南」の呼称。具体的には、北は京都御苑が面する丸太町通、南は御池通、東は寺町通、西は烏丸通で囲まれたエリアです。京都市内の中でも、落ち着いた佇まいの街並みが広がり、少し裏通りに入れば、伝統産業を受け継ぐ老舗などの京町家も点在。四条烏丸や四条河原町といった賑わいのスポットにも近く、都市の利便性と住宅地としての暮らし良さの両方を享受できる環境が高く評価されている憧れのマンション立地です。



京都の三大祭りの感動に間近に出会える堺町通。

賑わう観光ゾーンとは一線を画しながら、京都の名所旧跡へも身近な御所南界隈。たとえば、「堺町御門」から南へ伸びる堺町通は、御所南の落ち着いた街並みを抜けると、やがて賑わいと洗練に包まれた御池通へ。このわずかな距離の中に、京都三大祭りの感動のシーンを目の当たりにすることができます。まず、現地を北へ上がった「堺町丸太町」では、御所を出発する「葵祭」や「時代祭」の祭列が、「堺町御門」を通して京都の街中へと進む姿を楽しめます。また、現地を南に下がった「堺町御池」では、御池通を西進する「祇園祭」の山鉾巡行を目の前に見ることができます。



葵祭



image photo



祇園祭

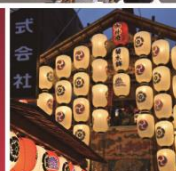


image photo



時代祭



image photo

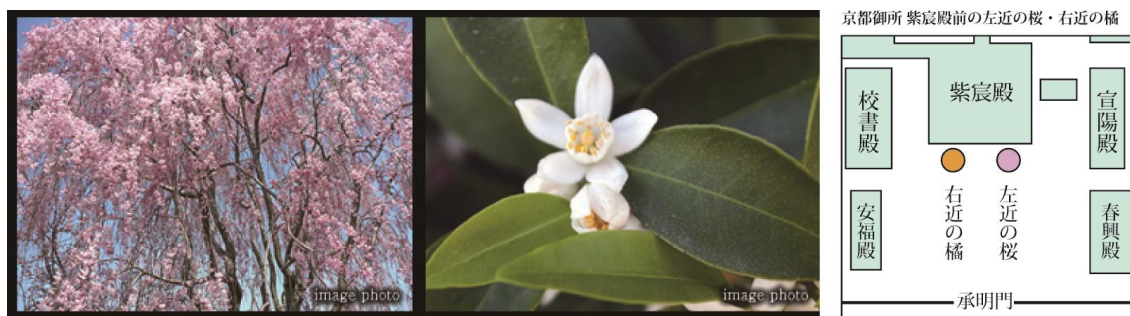
2

御所南に構える邸宅としての“必然”をデザイン。 御所にゆかりの左近の桜・右近の橘をモチーフに。

御所の正面、堺町通に面して誕生する「クレヴィア京都 御所南」。京都市内においても、なかなか出会えないその得難き立地への誇りを込めて、京の雅と伝統、御所の文化や様式、そしてこの界隈が受け継いできた土地の記憶など、御所南に構える邸宅として譲れない「必然」を設計コンセプトに設定。その具現化にこだわり抜きました。

左近の桜、右近の橘。御所に伝わる様式美を物件のキーデザインに。

京都御所の中核、玉座が置かれた紫宸殿の両脇に佇む左近の桜、右近の橘。その様式美を文様化し、本プロジェクトのキーデザインとして、建物の随所に採用しています。左近・右近は、左近衛府・右近衛府という平安時代の官職名の略称であり、紫宸殿を前に左大将以下が居並ぶ左近衛陣、右大将以下が居並ぶ右近衛陣が、それぞれ桜と橘の木を陣頭としていたために名付けられたといわれるほか、橘が「生命の木」で、桜が「知恵の木」という説もあります。



3

京の美の伝統、琳派 400 年の傑作。 「紅白梅図」をモチーフとしたデザイン。

エレベーターホールを彩る光壁は、「尾形光琳」作の国宝「紅白梅図」の構図をモチーフに、相對する桜と橘をデザイン。京都にゆかりの深い「琳派」が、2015年に400年を迎えることにちなんだ意匠です。江戸時代に華やかに展開した琳派は、王朝文化の復興をめざした京都の裕福な町衆らによって創始された美意識の新たなる潮流。まさに、御所南に私邸を構える方々にこそふさわしい造形美です。



エントランス光壁完成予想図

4

「京友禅」の伝統美と、境界の 「木の記憶」を継承するアプローチの意匠。

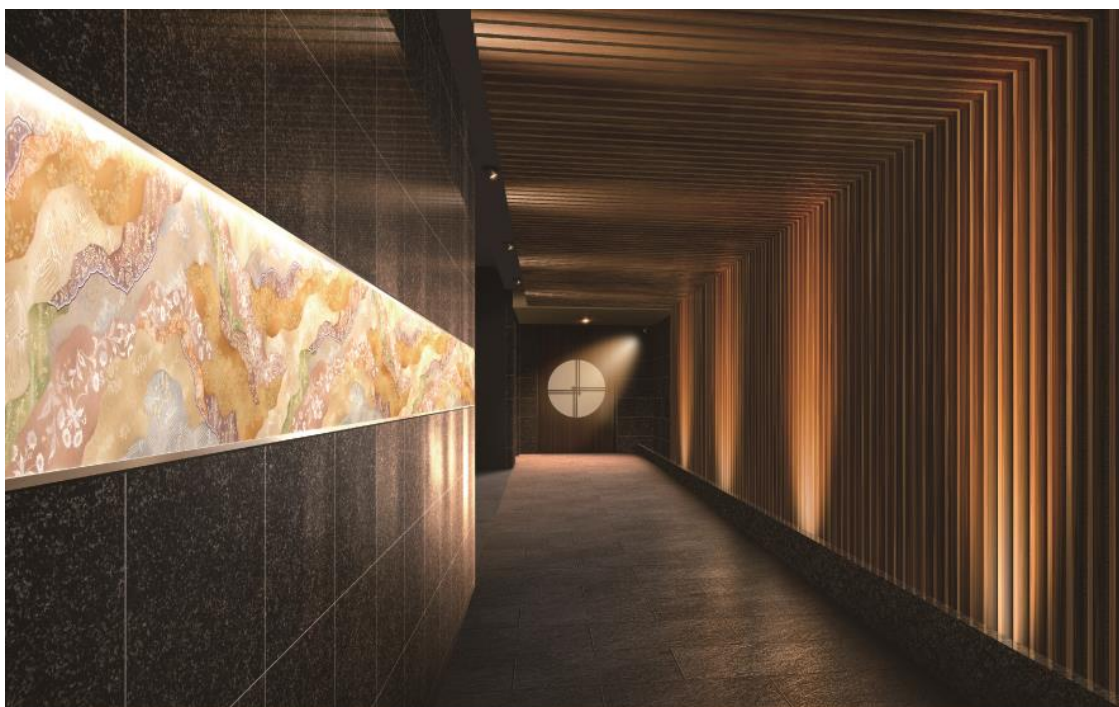
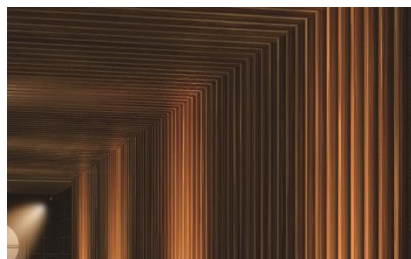
日本の美意識を迎賓の表情に。
京友禅の合わせガラスを採用。

元禄時代の扇絵師「宮崎友禅斎」が生み出した京友禅は、革新と挑戦の積み重ねを伝統として、その美意識を受け継ぎ発展を遂げてきました。「クレヴィア京都 御所南」では、有名ホテルのロビーや迎賓施設など、日本の美を追求したおもてなしの場にしばしば用いられる合わせガラスの 京友禅をエントランスアプローチのデザインウォールに採用。華やかさとしとやかさが響きあい、絢爛豪華に住まう方、訪れる方をお迎えます。



かつて材木商が軒を並べた「杉屋町」。
この地の由緒を受け継ぐ杉格子の意匠。

現地の町名「杉屋町」をはじめ、「材木町」など、木を扱う商家が多かったという境界の記憶を受け継いで、杉の格子の連続を意匠化したアプローチをデザイン。京友禅のデザインウォールと対向する壁から天井にかけてしつらえられた杉の格子が整然と奥へと続き、木のぬくもりを醸しながらオモテからウチへ懐深く人を誘う空間を構成。静寂に守られる私邸領域の序章を演出しています。



エントランスアプローチ完成予想図

5

御所の様式美に倣い、 御所南の荘厳に居住まいを正す。

静けさに包まれた堺町通に、風格の佇まい。
旧市街地型美観地区にふさわしい外観。

現地は、誇り高き御所南。さらに、京都御苑の正門「堺町御門」から連なる「堺町通」に面した立地です。この地にふさわしい稀代のレジデンスを築くために、建物には、御所の凜然とした佇まいに呼応する端正な表情と堂々たる存在感を追求しています。

外観フォルムは、京都の町家の佇まいをデザインエッセンスとしてイメージ。旧市街地型美観地区に指定されている御所南という歴史的街並と調和するために、屋根の勾配や軒庇の形状、外壁の意匠に伝統的な京都の表情を取り入れています。また、外壁を飾る素材には、燻し黒とアースカラーのツートーンのタイルを採用。凜然と引き締まったファサードが、御所南の地にふさわしい風格をたたえています。



アオキ
image photo



トキワマンサク
image photo

艶やかな季節の彩を街並の表情に。

1階道路側住戸のプライバシー確保に配慮して、タマリユの緑に映える赤い実のアオキや艶やかな色合いのトキワマンサクなど、季節の彩りあふれる表情をしつらえました。

吉祥の庭木「南天」を植栽。

古くから方角の縁起を重んじる京都では、見た目にも艶やかで“難を転じて福となす”吉祥の庭木「南天」を敷地の鬼門封じとして用いてきました。「クレヴィア京都 御所南」も、駐車スペース脇を飾る植栽として朱南天を配置しています。



ナンテン
image photo



完成予想図

陰影感のある
二丁掛タイル



外観完成予想図



■「クレヴィア京都 御所南」物件概要

- 所在地 / 京都市中京区堺町通二条下る杉屋町631番
- 交通 / 京都市営地下鉄烏丸線「烏丸御池」駅徒歩7分
- 地域・地区 / 商業地域・準防火地域・
15m第4種高度地区・旧市街地型美観地区
- 構造・規模 / 鉄筋コンクリート造 地上5階建
- 総戸数 / 19戸
- 間取り / 2LDK～3LDK+WIC+SIC
- 住居専有面積 / 54.85㎡～72.65㎡
- 建物竣工予定 / 平成28年2月下旬

